grass valley

T2

INTELLIGENT DIGITAL DISK RECORDER

追加機能マニュアル SP4.4

www.grassvalley.jp

F3951401284
January 2014

ご注意

(1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。

(2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。

(3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。

(4) 運用した結果については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

(6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。

(7) 付属の電源ケーブルおよびその他ケーブル類は本製品専用です。接続には必ず付属ケーブルを使用してください。

(8) QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は、米国およびその他の国々で登録された商標です。

(9) Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer および SQL Server は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。

(10) Intel、Core i7 は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

(11) XDCAM、XDCAM EX、MPEG HD422、SxS、およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。

(12) GF、GFPAK は、株式会社 東芝の商標です。

(13) Adobe、Adobe Premiere は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

(14) Final Cut Pro は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

(15) ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズ の商標です。非公開機密著作物。著作権 1993–2005 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

(16) 記載の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

(17) 本製品のディスプレイには、画素欠け（黒点）や常時点灯する点（輝点）が存在することがあります。液晶ディスプレイの仕様上発生する現象であり、製品の欠陥や故障ではありません。また、外部ディスプレイを接続してご使用の場合は、外部ディスプレイの仕様に依存します。

表記について

■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、添付のテキストファイルやリリースノートなども必ずお読みください。

■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。

■ 本文中の画像やイラストは、実際の製品とは一部異なる場合があります。

■ 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。

■ 本製品の内容は、仕様変更などにより予告なく変更することがあります。

T2 追加機能マニュアル SP4.4
Ver 1.0
Copyright © 2014 Grass Valley K.K. All rights reserved.

目次

1 はじめに

本書について 4

2 ログのエクスポート

操作やプロセスのログを確認する 5

ログを表示する 5

3 入力信号が途切れた場合のファイル分割処理の選択

R1 設定 6

R1- 収録オプション設定 6

4 リモート制御時の再生遅延設定

その他設定 7

その他 - リモート設定 7

5 その他の追加 / 修正点

追加された GPI 入力の動作 8

XDCAM ドライブ（PDW-U1、PDW-U2）へのエクスポートに対応 8

収録中クリップのアイコン表示 8

ワークステーションモード時のフルスクリーンプレビューに対応 9

ワークステーションモード時のフロントパネルのロックに対応 9

EtoE インジケーターの表示を改善 10

収録中映像の再生（追っかけ再生）時、最新収録位置への移動に対応 10

Section 1

はじめに

本書について

本書は、SP4.3 から SP4.4 へのバージョンアップによって追加される機能を主に紹介しているマニュアルとなっております。基本的な機能はユーザーマニュアルを参照してください。

本書では、フロントパネルモードでの操作をメインに記載しています。

Section 2

ログのエクスポート

コマンドセンターモードの Workstation から、T2 のログをエクスポートできるようになりました。メンテナンスモードに切り替えずに、指定の外部フォルダーに T2 の ログを出力できます。

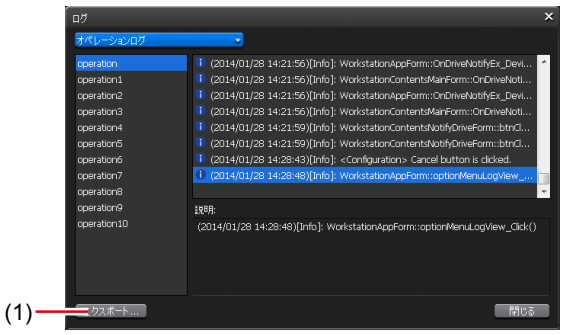
操作やプロセスのログを確認する

ログを表示する

操作やプロセスのログを出力できます。トラブルの原因解明などにご利用ください。

1. メニューバーの［オプション］をクリックし、［ログ］→［ログを表示 ...］をクリックする

◆［ログ］ダイアログ



(1)	［エクスポート］	外部フォルダを指定して、ログを出力することができます。

Section 3

入力信号が途切れた場合のファイル分割処理の選択

収録中の信号が途切れた場合のファイル分割処理を選択できるようになりました。

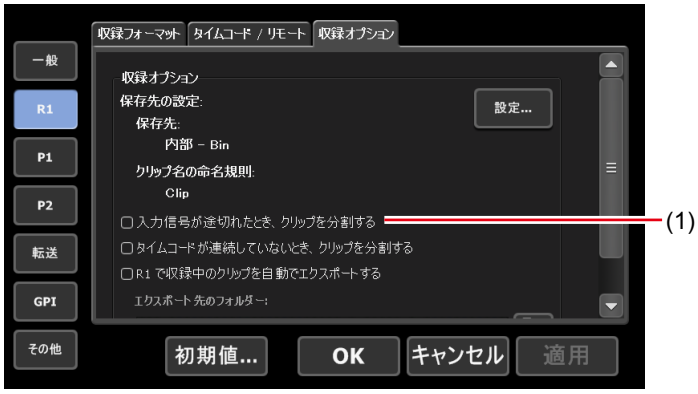
R1 設定

R1- 収録オプション設定

R1 チャンネルで収録中のファイルを自動的にエクスポートするかを設定します。

1. 設定画面で［R1］をタップし、［収録オプション］タブをタップする

◈［収録オプション］タブ



(1)	［入力信号が途切れたとき、クリップを分割する］	チェックを入れると、収録中に入力信号が途切れた場合、クリップが分割されて保存されます。

Section 4

リモート制御時の再生遅延設定

リモート (GPI/RS422) 制御時の再生 / 停止コマンドの実行設定を選択できるようになりました

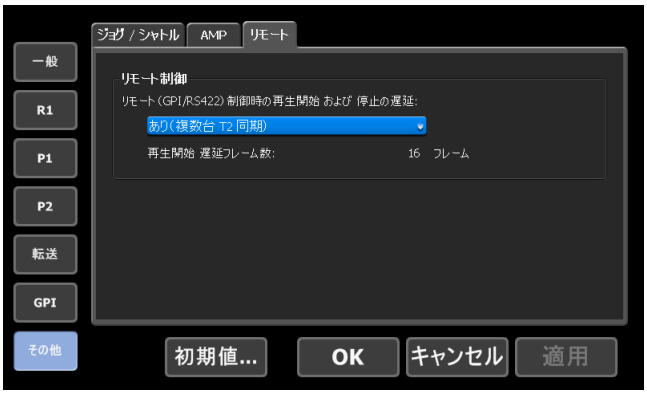
その他設定

その他 - リモート設定

リモート（GPI/RS422）で外部機器から T2 を制御する際の動作について設定します。

1. 設定画面で［その他］をタップし、［リモート］タブをタップする

◆［リモート］タブ



［リモート（GPI/RS422）制御時の再生開始および停止の遅延：］	GPI 制御時の再生および停止コマンド実行時の遅延を設定します。 ［なし（最小）］を選んだ場合は、遅延を設定しません。複数台の T2 を同期させる必要が無い場合に使用します。 ［あり（複数台 T2 同期）］を選んだ場合は、遅延を発生させます。複数台の T2 を同期させる場合に使用します。 ［カスタム］を選んだ場合は、遅延フレーム数を設定することができます。

2. 各項目を設定し、［OK］をタップする

［適用］をタップすると、続けて他の項目を設定することができます。

Section 5

その他の追加 / 修正点

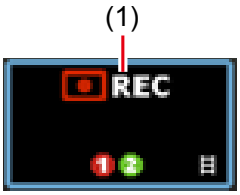
追加された GPI 入力の動作

[VARPlay+0.1]	現在の再生速度を 0.1 上げます。
[VARPlay-0.1]	現在の再生速度を 0.1 下げます。
[VARPlay+0.01]	現在の再生速度を 0.01 上げます。
[VARPlay-0.01]	現在の再生速度を 0.01 下げます。
[Keyboard Shortcut]	GPI の Input 1 ～ 6 に対して、任意のキーボードのキーを割り当てます。設定した Input がアクティブになると、割り当てたキーボードショートカットを呼び出します。

XDCAM ドライブ（PDW-U1、PDW-U2）へのエクスポートに対応

XDCAM ドライブへエクスポートする場合は、[エクスポート] をタップした後、[メディアファイルを XDCAM ドライブへエクスポート ...] をタップしてください。

収録中クリップのアイコン表示



(1)	**収録中**	収録中のコンテンツであることを示しています。収録中のコンテンツから作成したサブクリップには表示されません。

ワークステーションモード時のフルスクリーンプレビューに対応

ワークステーションモード時、R1/P1/P2 チャンネルのプレビューを全画面で表示できるようになりました。プレビュー上で右クリックのメニューを選択、もしくはダブルクリックで、フルスクリーン表示にすることができます。

◆ R1 チャンネル -2 ch/3 ch 表示

(1)	プレビュー	再生中の映像が表示されます。 右クリックのメニューを選択、もしくはダブルクリックで、フルスクリーン表示にすることができます。

ワークステーションモード時のフロントパネルのロックに対応

ワークステーションモード時、フロントパネルでの操作をロックすることができるようになりました。メニューバーの [システム] - [フロントパネルをロックする] で、フロントパネルの操作のロック および ロックの解除を行うことができます。ロック中は、フロントパネルモードでの操作を行うことができません。ロックの解除は、フロントパネルの [R1] ボタン +[P1] ボタン +[P2] ボタン +[SHTL/VAR] ボタンを同時に押すことでも行うことができます。

◆ 画面全体 -3 ch 表示

◆ メニューバー

[システム]	**[フロントパネルをロックする]** フロントパネルの操作のロック および ロックの解除を行うことができます。ロック中は、フロントパネルモードでの操作を行うことができません。ロックの解除は、フロントパネルの [R1] ボタン +[P1] ボタン +[P2] ボタン +[SHTL/VAR] ボタンを同時に押すことでも行うことができます。

EtoE インジケーターの表示を改善

EtoE モード再生時にアクティブになる EtoE インジケーターの表示を改善しました。E to E モードで R1 チャンネルを再生している場合は、EtoE インジケーターの文字が青色で表示され、P1 および P2 を再生している場合は、白色の文字で表示されます。

(1)	E to E モード インジケーター	E to E モードのオン / オフを切り替えます。 E to E モードで R1 チャンネルを再生している場合は、EtoE インジケーターの文字が青色で表示され、P1 および P2 を再生している場合は、白色の文字で表示されます。

収録中映像の再生（追っかけ再生）時、最新収録位置への移動に対応

収録中の映像を再生（追っかけ再生）中に、P1/P2 の [次の編集点へ移動] を選択すると、最新の収録点に移動します。

◆ P1 チャンネルの操作ボタン

(1)	[次の編集点へ移動]	クリップビューまたはプレイリストビューの TRIM モードでは、クリックするたびに、次の編集点（トリミング後の In/Out 点、クリップの末尾）に移動します。プレイリストビューでは、次のイベントの In 点に移動します。収録中の映像を再生（追っかけ再生）している場合は、最新の収録点に移動します。